

FD 通信 No.17 vol.2(号外)

飯田短期大学 FD 委員会 <http://www.iida.ac.jp>

キャンパスライフに対するアンケート（令和6年度）実施結果より 教務課主任 桑原真裕子

本学学生の学生生活に対する満足度を調査することにより、短期大学職員のあり方を見直し、業務改善及び施設設備の充実を図る一助とするために、全学生を対象に毎年アンケートを実施している。そのアンケートから見えた結果と課題を報告する。

毎年アンケート項目の見直しを行っている。令和6年度は、より具体的に学生の意見を拾えるように、自由記述の質問項目を多く設定した。また、令和5年度の回答率が低かったことの反省から、令和6年度は、クラスミーティングの時間を利用してアンケートを実施した。アンケートは令和6年11月20日～27日に本学に在籍する全学生にオクレンジャーにて実施した。質問項目は、対象者の属性、サポート体制、教育施設・設備についてとし、結果は単純集計し分析した。

その結果、回答者は279人（回収率66.1%）であった。①サポート体制について、履修登録や単位取得について相談できる体制については、91(94.2 *カッコ内は昨年、以下同様)%が整っていると回答した。令和5年度から導入している大学向けポータルシステム UNIPA での休講補講の確認は85.7(75.4)%が確認していると回答した。見方が分からないが2.2(0.8)%で上昇した。UUNIPAの掲示版は79.2%が活用していた。その自由記述ではスマホサイトや深夜活用での不便、見づらいという意見が散見された。学生便覧は61.2(60.4)%シラバスは70.5%が活用していると回答した。自由記述では、スマホで見たいという意見が多かった。奨学金制度などの経済的サポート体制については91.7(90.4)%が整っていると回答した。学生生活について相談できる体制については、88.5(87.3)%が整っていると回答した。からだやこころの相談環境は、「からだ」が76(83.1)%、「こころ」が利用者において79.9%であった。「こころ」の自由記述ではゼミ教員やアドバイザー、健康センターに相談をしていることがわかった。進路・就職サポート体制に満足しているかは、89.3(91.9)%が肯定的な回答をした。事務職員の対応については、満足と回答した者が前年同様9割以上であり、優しい、親切、丁寧、笑顔という自由記述が多くみられた一方で、2件厳しい意見もあった。

②教育施設・設備について、体育館、Wi-Fi環境の整備、男子更衣室、駐車場に対する意見が複数挙げられた。自習スペースについては利用者において十分と回答した者は81.3(74.6)%、くつろげる空間では77.4(77.3)%であった。食堂メニューは利用者の9割以上が肯定的で、その理由をメニューが豊富で美味しいとしていた。売店の充実は82.8%に肯定的な回答がみられた。教室の空調(冷暖房)の効きでは十分と回答した者は75.2(76.5)%であった。駐車場については、利用者において肯定的な意見が61.8(72.3)%であり、デコボコや柵線の整備などの意見が見受けられた。

以上の結果を踏まえて本学の課題は、情報の活用において、スマホ利用やペーパーレス化への要求が高いことが明らかになった。事務職員の対応について毎年全般的な満足度は低くはないが、対応については個々に意識を高くすること。施設設備については随時学生の意見を考慮していくことなどである。

昨年に比べアンケートの回収率が若干上昇した。自由記述にも学生は真摯に答えてくれていた。この結果を教職員全体で共有して、学生にも教職員にも誠実な対応を心がけ、快適な学校生活を実現できるように意識して取り組んでいきたい。

目次

キャンパスライフに対するアンケート（令和6年度）実施結果より 教務課主任 桑原真裕子 ページ1

編集後記

FD通信第17号 vol.2(号外)をお届けします。みなさまが教育活動その他の学校運営に関する活動を行ってゆくうえで、今後の参考になれば幸いです。

FD委員長 奥井現理